

2024年1月26日 第3458回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 藤村 会長

<斉唱> 「それこそロータリー」

<ビジター紹介> *大阪心斎橋ロータリークラブ 森田 邦治 様

<会報報告> *第1グループ三役会報告

・IM概要説明

3月30日(土) 16:30～ 場所：三浦市うらり(三浦市民ホール)

基調講演：京浜急行電鉄株会長 原田一之 氏

*国際ロータリー日本事務局からロータリーレート変更のお知らせ

・1月1日から1ドル147円⇒141円

*ガバナー事務所から

・青少年交換派遣候補生・来日学生合同オリエンテーションのお知らせ

2月3日(土) 15:00～17:00 会場：第一相澤ビル8F「会議室」

・青少年交換 第1回ホストクラブ説明会のご案内

2月17日(土) 15:45～16:45 場所：アイクロス湘南6F「E会議室」

・米山奨学金終了生終了・歓送会開催のご案内

2月18日(日) 15:00～16:30 終了式

17:00～19:00 歓送会

場所：第一相澤ビル8F「会議室」

・第36回全国ローターアクト研修会 山形大会ご案内

3月23日(土)～24日(日) 会場：「研修会」山形テルサ

「懇親会」ホテルメトロポリタン山形

<幹事報告> *10,000メートルプロムナードクリーン作戦(3月10日開催)について

*例会開催日の変更について 3月22日休会 4月12日開催12:30から

<出席報告> *出席委員会 加賀本副委員長から1月26日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
119名	106名	72名(4名)	34名	7名	74.53%

メイクアップ：岡田(英)、鈴木(孝) 両会員 第1グループ三役会出席

植田、鷲尾、兼城 各会員 第7回理事役員会出席

田邊、中村(清) 両会員 地区委員会出席

<ニコニコ報告>

・三 役 大阪心斎橋RC 森田邦治様、ようこそ横須賀RCへお越しくございました。横須賀を楽しんでください。

・小佐野 会員 大阪心斎橋RC 森田邦治様、ようこそ横須賀RCにお越しくございました。どうぞゆっくりお寛ぎください。

・曾 我、野 坂、鈴木(豊) 各会員 誕生月祝いとして

・三 役 第2回クラブ協議会よろしくお願ひいたします。

・荻 山、大野(隼)、竹 株、勝 間、濱 田、萩 原、福 西、権 田、
長 尾、江 口、八 巻、小佐野、澤 田、松本(剛)、浅 葉、谷、
根 岸、加賀本、前 田、前 川、徳 永、杉 浦 各会員

本日は第2回クラブ協議会です。三役・各委員長の皆様、ご報告よろしくお願ひいたします。

・比 護、加藤(剛)、大 石、椿、梁 井、鈴木(豊)、田 村、
田 中、山 下、土 田、齋藤(真)、小山(剛)、角 井 各会員

本日の第2回クラブ協議会で中間報告をさせていただきます。残り5カ月もよろしくお願いたします。

- ・三 役 10,000メートルプロムナードへのご出席よろしくお願いたします。
- ・仁 平 会員 昨日と本で行われた職業体験で、横須賀学院中学校の生徒を受け入れてくださいました各事業所の皆様、そして事前講演でのご指導をはじめ、様々な面でご調整くださった田中由紀子会員、八木達也会員には大変お世話になりました。この度の生きた貴重な経験は、今後の学生生活に必ず生かされることと思います。皆さまにご配慮とご指導に、関係者一同心より感謝しております。本当にありがとうございました。
- ・物 井 会員 あの日、日帰りでスノーボードに行ったら新幹線が止まりました。1本も滑らず、温泉にも入らず、越後湯沢から6時間かけて戻りました。新幹線ってすばらしいですね、動けば・・・。
- ・齋藤 眞 会員 今日までドクターストップのでていたジムが解禁になります。また筋トレがんばります。
- ・石 田、木 村、小 澤、長 島、濱 田、小 平、高 橋、
寺 田、上 林、浅 葉、前 川、小山 眞、笠 木、角 井 各会員
月探査機 SLIM のピンポイント着陸成功おめでとう！暗いニュースが多い中で久々の明るい話題となりましたね。「逆立ち」の着陸姿、カワイイ！

<卓 話> 第 2 回 ク ラ ブ 協 議 会 (中 間 報 告)

「写真」

1. 藤村 昌一 会長

まず初めに、皆様のご協力のおかげで、無事半年が過ぎましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。どうもありがとうございます。

さて、今年度クラブ活動の基本方針として、2つの大きな柱を定めました。1つ目は、「ロータリアンの家族の参加」です。これは、コロナ禍で低迷した家族同伴の習慣を再興し、ロータリーの理念を家族と分かち合おう、というものです。先月の年忘れ家族会においては、37名のご家族が参加され、盛大に楽しく開催することができました。引き続き、3月に予定している「10,000メートルプロムナードクリーン作戦」や5月の「職場見学会」においても、大勢のご家族とご一緒に開催してまいりたいと考えております。

そして、2つ目は、「ロータリーの重点分野」の新しい指針である「環境」に関連した卓話やプログラムを通じて、理解や知見を深めたい、というものです。これについては、7月から10月にかけて、「再生エネルギー」や「海洋プラスチック」に関連した卓話やイベントを実施しました。特に8月に実施したローターアクト・インターアクトとの合同研修会では、フィールドワークとして、猿島に渡って海岸清掃を実施しました。若者達と問題意識を共有できたことは、我々にとっても逆に良い刺激となったような気がいたします。

この他、10月の親睦旅行会、ズーム例会の設営方法の改良、情報集会での財団補助金の勉強会、インターアクトの地区大会、奉仕の基金プロジェクトやピンクリボンライトアップ、フィリピンセブのVTT派遣など、後ほどそれぞれの委員会から報告があると思いますが、大変多忙ながら密度の濃い半年間であったと思います。

最後になりますが、年度後半についても、当クラブがホストを務める地区研修・協議会をはじめとして、多くの重要行事が立て込んでおります。引き続き、皆様の変わらぬご理解・ご支援をお願いして、私からの報告とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

2. 会計 鷺尾 誠一 会員

現在の状況は、昨年7月1日から12月31日までの会計報告の中で、総収入が21,175万1,055円、総支出が1,326万6,835円となっております。予定通りに今の段階では順調に進んでおりますが、まだ

まだ厳しい状況ですので、会長含め皆様で何とかこの次年度に向けてしっかりと残せるように努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

3. SAA 角井 駿輔 会員

SAA業務として活動計画書に挙げた内容について、上半期終了時点での状況をご報告いたします。

第一に、例会の円滑な進行につきましては、親睦活動委員会、会報委員会、デジタル委員会の皆様のご協力のもと、ズーム設備の設置を含めた会場準備を行っています。上半期では商工会議所1階における合同例会の実施が複数回行われましたが、ゲストやビジターの迎えについても事務局の三宅さん、小山美智恵副SAAのご協力もあり、滞りなく進められています。

第二に、テーブル分けにつきましては第2クールの分類基準を干支にしたところ、同年代交流や世代間交流が活性化された結果、テーブルミーティングも大いに盛り上がったと感じています。引き続き第3、第4クールもよろしくお願いいたします。

第三に、ニコニコボックスにつきましては、今期目標370万円に対し、1月12日時点で194万7,500円であり、対予算5.2%、対前年マイナス81,500円の状況です。これは前年度のSAAがニコニコを集め過ぎたせいと、今年度の予算設定が高過ぎるというせいもありますが、ただ9月に台風で例会が急遽中止になったことなどを考えますと、現在のところそこまで危機的な状況ではありません。

会員皆様にご感謝申し上げますとともに、引き続きのご協力をお願いいたします。

最後になりますが、これからも例会場も楽しい雰囲気づくりに努めますので、残りの期間もどうぞよろしくお願いいたします。

4. 会報委員長 大石 朗 会員

週報発行に関しては、会報委員の皆様、石田副委員長、三宅さんをはじめ、会員皆様のおかげで遅滞なく発行できています。皆様のご協力に感謝しています。

実現には時間を要すると思いますが、ホームページのみの掲載とする週報のペーパーレス化を引き続き検討したいと思います。

そのメリットとして、印刷に伴うコストや作業負担を軽減できます。鮮明な画像など品質の高い週報を閲覧でき、多くの画像も掲載できます。紙の消費量を抑制し、森林破壊や地球温暖化の防止などSDGsに貢献できます。

サステナブルな社会への貢献が責務となっている昨今、こうした取り組みはクラブのイメージアップにもつながると思います。

今後も、「続けること」「やめること」「変えること」を考えてまいりたいと思います。年度後半もよろしくお願いいたします。

5. 雑誌委員長 鈴木 豊司 会員

毎月初日の例会にて「ロータリーの友」をご紹介している雑誌委員会。偏らない視点でのご紹介が大切だと、本年度は4名の委員が持ち回りでご紹介させていただいております。

本来は、本誌に掲載されているロータリーの理念や国内外の活動を端的に紹介し、今後のロータリー活動の活性化へと寄与する事が私たちの使命だと思っておりますが、そもそも「ロータリーの友」自体がとても面白い雑誌であり、読めば読むほどご紹介したい記事があり過ぎて困ってしまい、つついお時間をいただいております。

そこで下期は、数多くのご紹介したい記事の中から勇気をもって取捨選択をし、毎回いただく5分の持ち時間以内でいかに端的にこの雑誌の面白さを伝えるかを課題として、活動してまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

6. 出席委員長 曾我 宗光 会員

今年度は、担当役員の高橋隆一会員、加藤元章カウンセラーのもと、小平会員、加賀本会員とともにローテーションを組んで出席報告を例会にて行っております。

また、新たな取り組みとしては、会員のメイクアップ情報を毎回お伝えして出席率向上の奨励を図っております。

残り半年となりましたが、引き続き出席率の向上にご協力いただきますようお願いいたします。

7. 親睦委員長 比護 友一 会員

親睦活動委員会を4回開催して10月6、7日(土・日)での会員親睦旅行会(熱川、三島、沼津方面27名参加)、12月22日(金)年忘れ家族会(メルキュールホテル、会員79名、家族37名参加)を行いました。また例会会場の設営や懇親会の設営、例会時のZ o o m対応も行っています。残りの主な行事は最終例会になります。たくさんのご参加をお待ちしております。

8. プログラム委員長 中村 清乃 会員

今年度の例会卓話プログラムはこれまで通常卓話を10回開催したほか、新会員卓話は2名の方にお願しました。

卓話については、会長・副会長・幹事と連携して幅広いテーマを設定し、会員の皆様に興味を持っていただける内容でお話しただける卓話者を選定してまいりました。

残りの期間も会員の皆様にとって有意義で楽しい卓話を心掛けてまいりますので、引き続き会員の皆様からのご助言ご協力をよろしくをお願いいたします。

以上、中間報告といたします。

9. 広報・公共委員長 梁井 康市 会員

広報・公共イメージ委員会は、ロータリークラブの公共イメージ及び認知度の向上を目的として、当クラブのホームページやSNSの活用、また地域メディアとの連携により情報を発信しております。

昨年は、奉仕の基金プロジェクト、ピンクリボン、ポリオ根絶、V T T活動等、当クラブの活動および成果につきまして発信してまいりました。反省点としましては、いまひとつ発信した情報認知度が高くなっていないと感じておりまして、発信した情報の広報活動も必要かと感じております。

後半半年間、当クラブでは多数の企画がございますので、社会奉仕委員会等のご協力をいただきながら積極的に情報を発信し、認知度向上に努めてまいりたいと思っておりますので、引き続きご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

10. デジタルIT委員長 木村 一郎 会員

活動としては主にズームの機器設定なのですが、当初は設営に時間もかかり、機器の複雑性や商工会議所のPA設備との接続などでのトラブルも多く、特に設営に関しては親睦活動委員会の協力のもとで何とかこなしていた感じです。当初は例会場に午前11時集合で設営を始め、前任の梁井会員に監督していただかないとできなかったことが、機器の見直しによって最近ではトラブルがなければ15分程度で設営ができるところまでになりました。ズーム例会はコロナ以降非常に貴重なことだと思うのですが、日々いろいろな機器を要しながらということやれることの限界も変わってきますし、設営時間も変わってきたということを感じています。

本当に協力していた皆様には感謝の気持ちでいっぱいでございます。ありがとうございました。

11. ロータリー情報・研修委員長 田邊 一三 会員

新会員を対象とした情報セミナーを2023年9月27日(水)に小沢カウンセラーを講師にお迎えして三春町の甲羅本店にて行いました。参加者は15名で和やかなうちにも普段なかなか拝聴することのできない米山記念奨学会はじめロータリー情報の貴重なお話を伺いました。

情報集会は10月27日(金)セントラルホテルにおきまして「ロータリー財団の補助金事業を考える」をテーマに行いました。地区ロータリー財団委員会 柚木裕子副委員長の「ロータリー財団への理解を深める」の講話の後、6グループに分かれ「ロータリーの補助金事業を考える」と題して活発な討論を行いました。

12. 職業分類委員長 鈴木 孝博 会員

職業分類委員会では、職業分類の役割を十分考慮し、時代に沿った事業及び専門職の環境に合わせた適正分類を行ってまいりました。今後も幅広い交流を通じて、未充填の減少を図り、クラブ内の職業倫理の高揚に努めてまいりたいと思います。上期もクラブにふさわしい方の入会への取り組みがしっかりとなされてきております。下期も引き続き適正分類に努めてまいります。

13. 会員選考委員長 渡邊 磨 会員

上半期は、会員選考委員会として、職業分類一覧表の未重点分野を整理確認し、会員の拡充に努めてまいりました。

会員として推薦された方につきましては、人格、資質を十分に備える2名の方にご入会いただきました。

下半期も引き続きよろしく願いいたします。

14. 会員増強・会員維持委員長 新倉 良是 会員

今年度の地区の目標でもある「会員数の維持」を目指し、新会員、現会員の皆様が例会に参加しやすい、楽しい雰囲気づくりを、これからも親睦委員会とともに大切にしていきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

15. 職業奉仕委員長 田中 由紀子 会員

昨日から本日まで行われております横須賀学院中学校の3年生を対象にした職業体験のお受け入れをしていただきました事業所の皆様、お忙しい中誠にありがとうございました。なお、2月に行われる例会での職業体験の報告会ですが、入試と重なったためビデオでの報告となります。

また、5月17日の職場見学会ですが、ただ今調整中でございますので、決まり次第ご報告させていただきます。

16. 社会奉仕委員長 齋藤 眞且 会員

前年度加藤淳会員が委員長であった取り組みを踏襲しています。

今期は加藤会員が副委員長に就任されているため、私がお手伝いしているような状況です。

毎月第1例会での即売会では、昨年が増えて皆様のご厚意により、毎回完売しております。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

1月5日(日)ポリオ根絶に向けた募金活動も昨年以上の成果を上げ、重ねてお礼申し上げます。

私事ですが、当日を前後いたしまして鼠径ヘルニアと腸閉塞を患い参加できませんでしたことお詫び申し上げます。

現在、来る3月10日(日)の10,000メートルプロムナードクリーン作戦に向けて準備を進めております。会員の皆様のご参加・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

17. 国際奉仕委員長 勝見 慎一 会員

今年度は現在のところ諸外国の災害支援のための募金活動等は行っておりません。

VTTについては、今年度プロジェクトの最終年度となっており、VTT特別委員会中心に医療チームがフィリピンのセブ島へ医療支援を行いました。

また、3年ぶりに再会した青少年交換プログラムにて、横須賀ロータリークラブでも台湾から来たサム君の受け入れを行っております。

18. 青少年奉仕委員長 田村 督 会員

台湾からの留学生サム君が、今年の8月に来日しました。ホストファミリーをお引き受けいただいた藤村会長、平野さん、これからお世話になります物井さん、前田先生をはじめ皆様のご協力のおかげで非常に元気よく過ごしています。ロータリーの各種会合や修学旅行にも楽しく参加しています。

また、来年度の交換留学生も三浦学苑の高石さんに決定していきまして、ブラジルに留学します。引き続き、皆様のご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

19. ローターアクト委員長 白井 健 会員

8月合同例会10月ピザ例会およびフリマ例会12月横須賀での地区大会の開催を行ってまいりました。ロータリアンの皆様のご多大なご協力もあり、8月合同例会から12月のローターアクト地区大会まで、滞りなく進めることができました。誠にありがとうございました。現在は、ZOOMも取り入れたハイブリットにより月2回の定期委員会を行っております。ロータリアンの皆様にももっと、アクトの活動を知っていただけるように、私から、もっとアナウンスをして行こうと思っております。副委員長の岡田圭太君と共にアクト活動をサポートしていきますので、ロータリアンの皆様におかれましても、引き続き残り半年間もアクト活動についてのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

20. インターアクト委員長 小山 陽生 会員

昨年末、コロナ禍前は毎年行っていた3泊4日の台湾研修が4年ぶりに行われました。私も行きたかったのですが、実施時期が年末にかかってしまうことから時間が取れず、いつも残念な思いでお見送りをしています。今年は以前と変わったところがあり、台湾に行った生徒たちが、5校を訪問し、親睦を深めたことが特徴的であったと思います。普通は中・高校へ行ったりするのですが、今回は小学校まで行ったとのことで、いろいろな方ととても楽しく親睦が図れたようで、参加された生徒たちはとても喜んでいました。

2780地区は20名の参加枠があるのですが、今回は16名ということで、ちょっと寂しかったのですが、参加者は1月のアクターズミーティングの時に全員がとても楽しそうな顔をして説明されましたので、とても良かったのではないのかと思っています。

3月24日、25日に一泊研修があり、そこで3年生が中心となって委員会を行っていたのですが、その方たちの卒業式を兼ねた一泊研修がありますので、その時は私も参加して皆様と楽しく過ごせたらいいと思っています。

21. ローター財団委員長 E. Rogers 会員

今日はポール・ハリス・フェローズについてお話します。今、私たちのクラブには68名のポール・ハリス・フェローズがいます。皆様にご協力いただきありがとうございます。皆様はポール・ハリス・フェローズを様々な方法で受け取ることができます。例えば、年間のファンド、ポリオプラスまたはグローバルランプを設定することもできます。私たちのメンバーシップには多くのポール・ハリス・フェローズがいます。彼らは1,000ドル以上の金額を与えています。また、彼らは毎年1,000ドルの金額を与えています。また、彼らはロータリー・ディレクトのメンバーです。彼らは自分の銀行アカウントから自動的に繰り返しの支払いを受け取ることができます。なぜ私たちがポール・ハリス・フェローズになりたいのか。ポール・ハリス・フェローズのために、あなたはあなたの貢献に感謝されています。そして、あなたはこのペンを持っています。あなたは68人の人にこのポール・ハリス・ペンを持っています。私はあなたがそれを誇りにすることをお勧めします。私たちはこの贈り物を受け、世界に違いを与えることを目指しています。そして、私はそれが贈り物ではなく、世界に投資を与えることを願っています。そして、それをより良い場所に作り、あなたに質問がある場合、あなたがポール・ハリス・フェローズになりたいのか、あなたのポール・ハリス・フェローズのレベルを上げることができるか、私はあなたに知ってもらっています。私はあなたに助けられます。ありがとう。

22. 米山奨学委員長 土田 匡明 会員

今年度は、8月5日(土)につくば国際会議場で米山学友による世界大会「再開 I N 関東」が開催され、38か国の米山学友のほか、多くのロータリアン、家族が参加されました。

また、9月3日(日)には片瀬江ノ島西浜海岸の海岸清掃がありました。コロナが5類になり、こちらも活動が活発になっております。

会員の皆様には、米山奨学事業の目標達成のため、今年度もお一人2万円以上のご寄付をお願いしておりますので、よろしくお願いいたします。

23. VTT特別委員長 山下 和男 会員

まずもって、2019年から始まりましたVTTプロジェクトが昨年11月12日に活動としては終わったことをご報告いたしまして、皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

先週の年男卓話で、久保田会員からの詳細な説明がございましたので、ここでの説明については割愛させていただきますが、委員長として参加させていただいた感想を申し上げます。

まず、プロジェクトのセレクトの仕方、そして実際に運営している会員以外の皆様のコミットの仕方などをこれから考えて次回のグローバルグランツという国際財団基金を使った国際奉仕のプロジェクトにつなげていければと思ってご報告します。

あとは財団にこのプロジェクトの精算というか会計の報告をして終わるのですが、これは少し大変ですが、終わりましたらご報告をさせていただきます。長い間ありがとうございました。

24. 中期ビジョン特別委員長 植田 威 会員

中期ビジョンはクラブのあるべき姿を明文化したものです。換言すれば、“持続可能なクラブの方向性”を示したものです。“魅力ある・活力ある・個性ある”クラブとしての成長目標がクラブビジョンです。

横須賀ロータリークラブの中期ビジョンは岡田会長年度に策定されました。中期ビジョンは、「私たちは、地域社会や世界が変化する中、大切にしたいことを感じ取り、多くの人々と出会い、奉仕の輪をひろげ、豊かな魅力ある社会を育てる。」です。

そして、前田会長年度に中期ビジョンを達成するための戦略計画(行動計画)が策定されました。五大奉仕にひもつける形式で、行動計画を優先事項15項目に落とし込んでいます。

また、中期ビジョン・戦略計画は、クラブで定期的に自己点検・自己評価、必要に応じて改定されるものです。

中期ビジョンの実現に向けて引き続き務めてまいります。会員の皆様のご指導・ご助言をよろしくお願いいたします。

以上、中期ビジョン特別委員会の報告とさせていただきます。

25. ピンクリボン運動特別委員会 椿 和香 会員

ピンクリボン運動特別委員会の中間報告をさせていただきます。

10月1日に行われました「ピンクリボンライトアップ2023 in かながわフォトコンテスト」において、ピンクにライトアップされたティボディエ邸を撮影した2作品が、特別賞 麻倉美稀賞とエリアベストフォト賞を受賞いたしました。横須賀ロータリークラブの活動と横須賀市の認知度のアップにつながったと思います。

また、今年5月26日にヨコスカ・ベイサイド・ポケットにおいて開催予定の「ピンクリボンよこすかチャリティー講演会」の第1回委員会も行われ、講演会へ向かっての準備を整えていきます。今年度は、チャリティーとしてチケットも有料販売の予定です。

より多くの皆様のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

26. 奉仕基金プロジェクト委員会 加藤 淳 会員

奉仕の基金プロジェクト委員会の活動報告をご報告いたします。

地域の皆様が「今、何が必要で何をすると一番喜ばれるか?」を知る意味で地域の奉仕活動を行う団体等に広く呼びかけ、地域の皆様と一体感をもった「実りある社会奉仕の新たな形づくり」として、当委員会メンバー間で6つの視点(必要性・重要性・公平性・有効性・透明性・公正性)に基づき、3役および委員会メンバーで評価し、その結果を会員の皆様にご了解を得て、助成金の贈呈団体を決定いたしました。

今年度も9団体からの申請をいただき、「ひとり親家庭と無料学習塾への食支援をする、神奈川フ

ードバンク・プラス様」、「生活困窮所帯の中学生への無料塾への取組み支援をする、こどもの夢サポートセンター様」、「地域の小中学生（発達障害者含む）が農業ビジネス支援にチャレンジする、横須賀ジュニアビレッジ様」計3団体に総額40万円の補助金を贈呈しました。

その結果活動報告は6月7日に行いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

27. 幹事 鈴木 之一 会員

歴史と伝統と格式のある横須賀ロータリークラブの幹事として、会長の掲げる方針に従い、クラブ運営をしてまいりましたが、2023-2024年度の活動も7か月を経過し、残り5か月となりました。

会員の皆様が例会への出席が楽しく有意義なものとなるよう、会長・副会長・SAAはじめ関係委員会と連絡を密にして、情報の共有化を心掛け有意義で円滑なクラブ運営を心がけてまいりましたが、幹事として至らない点が多々あったと思います。そして、本日まで理事の皆様や各委員長の皆様には大変ご尽力をいただいていることに、この場をお借りして感謝申し上げます。

今年度、藤村会長が掲げた基本方針の第一に「ロータリアンの家族の参加」がございます。世界規模の新型コロナウイルスのまん延がパンデミックを引き起こし、さまざまな行事の中断が余儀なくされたことに伴い、会員相互の価値観の共有が希薄を危惧されるなか、今一度「絆」を深める活動を進めてまいりました。

これから10,000メートルプロムナードクリーン作戦、職場見学会、そして地区研修・協議会が県立保健福祉大学をメイン会場として開催されます。会員の皆様のご協力により実り多い活動を進めてまいりたいと思いますので、より一層のご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 大石 朗